

南紀白浜空港への米軍オスプレイの着陸について

このことについて、防衛省北関東防衛局から、下記のとおり情報提供がありましたので、お知らせします。

記

○ 情報提供内容（第1報）

昨夜（20日）午後10時45分頃、米軍オスプレイ1機が、和歌山県の南紀白浜（なんきしらはま）空港に着陸し、その後、当該機は米軍による整備作業により安全が確認できたことから、本日（21日）午前6時頃、南紀白浜空港を離陸したものと承知しております。

今回の着陸による部外への人的・物的被害、民間機への影響は確認されていません。また、防衛省は、本件の発生を受け、速やかに関係自治体へ情報提供を行うとともに、職員を現地に派遣したところです。

防衛省としては、米軍機の運用に際しては、安全の確保が大前提と考えており、引き続き日米で連携して対応してまいります。

当該機の所属については、現在米側に確認中です。

着陸の原因については、現在米側に確認中であり、新たな情報が得られ次第、関係自治体に対し速やかにお知らせする考えです。

○ 情報提供内容（第2報）

10月20日（木）午後10時45分頃、横田基地所属のCV-22オスプレイ1機が飛行中、コックピットの警告表示を受け、和歌山県の南紀白浜空港に予防着陸を行いました。

当該機は必要なメンテナンス作業を実施し、10月21日（金）午前6時頃に南紀白浜空港を離陸しました。